

ビジョン1

人のつながりがあるまち

めざす未来

- 近所づきあい・助け合いが盛んなまち
- 木更津ならではの「つながり」を感じることができる、人と人との交流が盛んなまち
- 近所に居場所があるまち

プロジェクト1

つながり・コミュニティ

課題	①つながる仕組み・環境の不足
必要な取組	1 人と人が出会える場づくり(何かしたい人、助けてほしい人、役に立ちたい人) 例 木更津市SNSでイベント・ボランティア等の呼びかけ 例 SNSを活用したり、未来会議のような場を増やす取り組み 2 イベント参加した人が次の場所へ行くしくみ(ごみひろい→アイスチケットもらえる) 3 定期的な地域活動を実施する。(クリーン活動・防災訓練) 4 外国人など メンター(?)登録・紹介制度 5 ボランティア紹介 コーディネーター交流とか
課題	②近所づき合いの弱体化
必要な取組	1 地域で関わるおまつりの実施(夏の盆踊り?のような) 2 地域ごと、近所で情報をまわす(回覧板) 3 子ども会への地域の大人の参加 4 寺社仏閣を活用した、祭りやイベント 5 小規模で行える、イベントや祭りの取り組み
課題	③コロナ禍における社会の分断
必要な取組	1 病気のときのたすけ合い強化(コロナなっても大丈夫、みたいな) 2 市民共有のSNS(掲示板) 3 ハイブリッド(オンライン オフライン) 見守り イベント

プロジェクト2

多文化共生

課題	④外国人の受け入れ体制が十分でない
必要な取組	1 市に在住の外国人を対象にした、地域内でのホームステイ・交換留学 2 日本文化紹介、イベントの実施 3 (大学・高校でも)ALTなどの能動的な授業を受けれるような取り組みを増やす 4 多文化共生視点の防災(外国人向け防災訓練、多言語対応の防災アプリ)

プロジェクト3

世代を超えた交流

課題	⑤世代間の交流機会の不足
必要な取組	1 多世代が集える・話せる共有スペースや講座、行事、イベントを作る 2 役割体験(学生/母/お年寄りなどの役割交換) 3 学生が主体となって交流できる場を増やす取り組み 4 多世代が一緒に学び・楽しむことのできる(お互い教え合い学び合える)コミュニティカレッジの創設

ビジョン2

自然とともにあるまち

めざす未来	自然を生かしたまちづくりがされている 自然を楽しむことができるまち 接続可能なまち
-------	---

プロジェクト1

自然との共存

課題	①自然環境の破壊
必要な取組	1 電気自動車の購入時の補助金を出せるようにし、各地に充電スタンドを設置する 2 市の景観コード(方針)を作り、自然・美しい風景を残しつつ暮らしを豊かにする 例 樹木葬など 3 4 5 6

課題	②自然に親しむ機会の減少
必要な取組	1 山・海のアクティビティを盛りこんだ、体験(旅行)プログラム作成 2 自然の中で遊ぶ・楽しむプロジェクトの継続的な実施 3 学校行事における山登り、キャンプ、潮干狩り等の実施 4 5 6 7 8

プロジェクト2

自然を生かした産業

課題	③持続性の確保(後継者・資源)
必要な取組	1 後継者を育てる農業系大学等の創立 2 最低収入の補償 3 農業、漁業の後継者の育成に向けた研修制度を作る。 4 学生、若手を対象とした農業、漁業の体験プログラム作成 5 Iターン・Uターンを狙った、補助事業(技術継承、屋賃補助など) 6 農家や漁師といった職業のメリットの発信 7 使っていない田んぼ等を市で管理し、新規参入者へ提供する。

プロジェクト3

エシカルな暮らし

課題	④ゴミ問題
必要な取組	1 キレイで「ポイ捨てしにくい」環境をつくる(ボランティア活性、様々な場所の整備) 2 削除→オシャレで映えるゴミ箱を設置する 3 レジ袋を極端に高くする。 4 色々な場所へのリサイクルBOX設置と、リサイクルするとポイントがたまる仕組み 5 木更津市主催のイベント等にゴミ拾いのボランティアも取り入れる 6 瓶・缶・容器のリユースが街全体でできるシステムづくり

課題	⑤市民や企業の理解・協力が不十分
必要な取組	1 市民・企業へのインセンティブをつくる - 例 協力者への減税 クーポン券の配布。 - 例 協力企業にポイント！ 協力ステッカー 補助金 - 例 ゴミを持ち帰らせない工夫をしているお店へのインセンティブをつくる 2 木更津のものを使う 地産地消(企業がPRすると知る機会がふえていいと思う) 3 エコな考え方を広めるためのイベント開催(エシカル映画祭など) 4 エシカルとは何か、わかりやすく伝わるよう、市のエシカルを定める (社会や環境に配慮したことを具体的に決める) 5 既にあるものを活用！！ 海鮮料理や桜、海、山、木更津には既にたくさんの魅力があると思います。あとはもっと大々的にPRすればよくなるのでは？

ビジョン3

人を呼ぶ魅力のあるまち

めざす未来

- 移住者からも愛される安心安全、楽しい木更津
- 木更津にしかない！がある
- 皆が知っていて色々な人が来るまち

プロジェクト1

移住・定住の促進

課題	①居住・生活の利便性の不足
必要な取組	1 新しく住む人のための住居(家・アパート・マンションなど)の建設？ 2 バスの本数をふやしたり無料バスを走らせたりする。 3 道路の整備(特に金田エリアの渋滞問題) 4 空き店舗に店を入れるような仕組み 5 久留里線で電子通貨を使えるようにする。 6 駅前などへのごみ箱の設置によるまちの美化

プロジェクト2

訪れたくなる魅力の創出

課題	②観光業の衰退
必要な取組	1 木更津産の食べ物(B級グルメ等)、物(木更津の木を使いたいす等)を作る 2 様々な文化を楽しめるイベントの開催 3 木更津の特産物を扱った店を作る(農水産物・加工食品・人気の菓子等の土産) 4 県外からのアクセスの良さを利用して、いろいろな県や国の食文化を楽しめる(ラーメン博物館のような)フード施設をつくる。 5 6

課題	③観光地としての発展の不均一さ
必要な取組	1 ホテル三日月やアウトレットに来た人が街前街中に来るような動線を作る。 2 中心市街地以外(馬來田の方とか)で観光できる物… 3 海、山の観光業をしっかりと分けて海の木更津、山の木更津くらいわかりやすくおもしろく見せる 4 5

魅力の発信

課題	④PR・発信力・マーケティング戦略の不足
必要な取組	1 YoutuberやTicktokerとコラボする。 2 PR動画を映画館や駅前スクリーンで流す！ 3 「木更津がどう」ではなく「千葉の中で木更津はこう」をPRする 4 若い世代の使用頻度がより高いSNS(インスタ、Twitter等)で木更津の魅力を毎日投稿 5 世代ごとに伝わりやすいPR専門の仕事をつくり、各発信担当を決める、 6 代理店と組む。 7 ポスター等による市民向けPRをまず行い、他県の友人や親戚に広めてもらう

ビジョン4

誰もが安心して暮らせるまち

めざす未来	困った時、頼れる人・組織がある 質の高い医療、介護、福祉を受けることができる 災害に強いまち
-------	--

プロジェクト1

支え合いの輪

課題	①支え合いのつながりや人材が不足している
必要な取組	1 各医療施設間でのネットワーク⇒各医療従事者団体レベルでのネットワーク 2 医療従事者、介護従事者における人材バンク化 3 近所同士の信頼性構築、自治会・地区のつながり 例 まちづくり協議会のような会を全地区に設立 5 市役所内に専門職配置の充足 6 7

課題	②経済的な負担が苦しい
必要な取組	1 支援金等の検討(特に障害者・高齢者に対するもの) 2 ベーシックインカム木更津版 3 雇用率の上昇・多種多様な企業誘致 4 共働きを支援できるような、対子供のボランティア(見守り支援)充実とその保障 5 6 7 8

安全・安心

課題	③防災の情報が届いていない
必要な取組	1 防災情報の伝達手段の拡充(LINE等での配信、各家へのポスティング) 2 木更津市特有のウェアラブル機器を市内各世帯に配布し、情報伝達に活用する 3 4 5 6 7

課題	④防災意識が十分でない
必要な取組	1 防災意識を強化する為の呼びかけ(LINE等での発信、各家へのポスティング) 2 防災体験施設の設立 3 自治会での講習会(定期的に内容を更新) 4 市民教育 5 小・中で教育 6 7 8

課題	⑤水害・津波のリスク
必要な取組	1 防波堤を高くする 2 避難タワー？をオシャレにつくる(九十九里) 3 住民それぞれがどこに逃げるか決めておく。 4 5

課題	⑥治安悪化の防止が必要
必要な取組	1 事故・事件の見える化(マップ上で発生状況を色分け表示) 2 アスファルトでない道路、歩道整備(車の減速期待。ランニングや散歩がし易い) 3 監視カメラ 4 緊急通報付きの街灯 5 警察のパトロール強化

子ども・若者が育つ環境のあるまち

めざす未来	●安心して子どもを育てることができる ●教育が充実している ●若い力が活躍しやすいまち
-------	---

プロジェクト1

子育ての環境

課題	①子育て環境の向上が必要
必要な取組	1 病児保育サービスの充実 ☆1歳までの支援として以下2～4の実施 2 産後ケア事業の充実(兄弟一緒に泊まれる宿泊型、保育園送迎サービスとの連携) 3 適時伴走してもらえるマイ助産師制度 病院での受診の他にマイ助産師による訪問ケア 4 オムツ・ミルクの支給(1歳まで) 5 子どもに発達の課題があったら、育てられるかしら？(発達支援の充実、仕事含む) 6 母親として育ててもらう支援〔私〕育児力が形成できるかしら？) 7 今ある公園の充実化、公園の新設 8 保育士の人員増加に向けた待遇改善(給料、家賃補助)や育成・研修の充実

課題	②子育ての経済的負担
必要な取組	1 市に就職することを条件とした、市独自の奨学金 2 給付型奨学金の基準・条件を引き下げ 3 大学費用まで給付型の補助 4 出産の経済的負担のサポート

プロジェクト2

教育の充実

課題	③少子化による児童の減少
必要な取組	1 構造物の維持管理の簡略化 2 少人数だからこそできる対話型教育(多様な意見の折り合いをつける) 3 好きなことをとことん追求できるプロジェクト型教育 4 少人数でしかできない独自の教育の充実

課題	④将来の選択肢が広がる教育の充実
必要な取組	1 将来をみすえて何でもできるよう生活力・生きる力をつける市独自の教育プログラム 例 仕事の体験 2 アクティブラーニング型授業の実施 3 ALTの授業以外での交流 4 外部講師(企業・市職員)セミナー会 例 生産者・経営者と実際に出会える、市内の様々な企業を知る機会づくり(SNS含め) 参考 岩根中で自治会主体のそのような講座がある。そこからSNSでつながれば 5 キャリア教育としての中・高生インターン制(賃金が発生するリアル職場体験) 6 社会人が副業的に自身の専門を教える仕組み(責任や権限も与える) 7 教育者の確保に向けた労働環境改善(例:17時以降は電話対応なし)

プロジェクト3

若者の活躍

課題	⑤若者の活動や就職を後押しする支援の不足
必要な取組	1 自習スペースの設置(空き店舗の利用など)と、その運営への補助 →社会貢献したい若者の応援、逃げ場にもなる 2 サードプレイスとして学校内にカフェ (カフェ委員会+生徒会→運営したい人、利用したい人の自主カフェも良いかも) (費用は市が支える) 3 他校の専門分野の授業・セミナー(外部講師含む)をサテライト聴講できる仕組み 4 学校を超えた交流の場を設ける(未来会議のような場→ボランティアだけでなく単位が) 5 経営や経済の仕組みについて勉強する機会の提供支援(中高生向け経営セミナー等)

課題	⑥若者の就職先の問題
	1 東京に就職しても通えるような家賃・交通費補助 2 市に就職することを条件とした、市独自の奨学金 3 企業との連携 企業(仕事)を知る。 4 市内で起業する人への支援

わくわくして暮らせるまち

めざす未来

- 木更津の楽しい思い出を増やせる
- どの年齢層でも楽しく過ごせる！
- おしゃれして出かけたいまち

プロジェクト1

生活する楽しさ

課題	①コロナ禍によるイベントの減少
必要な取組	1 イベントできる場所の情報をHPやSNS等オンラインに残してわかりやすくする 例 公園、公民館、文化センター 3 イベントのオンライン中継→アーカイブ動画を残す。(知ってもらう) 4 イベントは規模の縮小・人数制限をして複数回に分ける、予約・招待制にしてみる 5 6 7

課題	②世代によるニーズの違い
必要な取組	1 道の駅に子ども、若者が遊べる施設、遊具をつくってみる 2 子育て世代向け公園の遊具を増やす。その賃金はクラファンでもOK 3 どの世代が何をやりたいと思っているのかアンケートをとってみる 4 イベントやおまつりに気軽に参加できる雰囲気、新人が入りやすい仕組みをつくる 5 世代ごとそれぞれのニーズに対してクラファンでお金をあつめる。自助努力型。 6 7

課題	
必要な取組	

プロジェクト2

地元への愛着

課題	③木更津への理解を促進できていない
必要な取組	1 木更津の歴史について、小学生でもわかるくらい簡単にまとめた絵本をつくる 2 地域・まちを学びながらあそぶことができるゲームをつくるとか 3 ロケ地としてもっと使ってもらう 4 聖地巡礼的な。 5 6 7

課題	④イベント参加者の減少
必要な取組	1 イベント参加者への特典をつける(アクアポイント、きさポングッズ) 2 子ども向けのイベントを開催 3 イベント情報まとめサイト(いこーよ的なもの)

課題	⑤東京との競合
必要な取組	1 "地産地消"がテーマのフェス(?) 2 東京〇〇という名前の物を木更津には作らない(?)(ディズニー、ドイツ村…) 3 東京の人を呼ぶ お客様にしてしまう 4 市外の人向けの案内、アピール(観光サイトをつくる、SNS、ポスター掲示) 5

プロジェクト3

文化・芸術・スポーツ

課題	⑥学ぶ機会がない
必要な取組	1 学校、教育で木更津について学んでもらう 2 博物館を利用してもらう 3 きさらび出前講座を利用してもらう(市役所×市民の交流) 4 金のすずのほかにもそういう学びや体験ができる施設をつくる 5 「知りたい人」と「教えたい人」「知っている人」のマッチングサイト

生活が便利なまち

めざす未来

- 生活の移動に困らないまち
- 駅前の利便性があるまち
- ICTが活用され、みんなが恩恵を受けているまち

日常生活の便利さ

課題	①買い物が不便な地域がある
必要な取組	1 買物に行きやすくする(移動手段の充実) 例 乗り合いタクシー 例 駅近の”かすみ”の無料バスをもっとアピール！！ 例 こまわりの効くモビリティを増やす。 例 駅前から大型スーパーへのバス路線を増やす、つくる 2 「行かなくても買い物できる」環境の整備 例 零細商店への移動販売車かしだし 例 高齢者向けのネットスーパー 3 居酒屋の昼の時間の利用 4 まずは生活の基盤となるスーパーの誘致→仕事帰りの買い物等 5 ビジネスとのマッチング 6 駅近に人を住める様にする(空き家、住民District) 7 ニーズ、ポテンシャルの見える化。 8 コミュニティストアをつくる 9 アレクサの頭よく(アレクサやアプリによって便利さや可能性は無限大！！)

課題	②地域の店を応援する気運が不十分
必要な取組	1 アクアコインの利用UPのための各種取り組み 例 アクアコイン限定商品など特別感を出す。 例 アクアコインの使い方の周知 例 Suicaのようなカードでの利用 2 地域のお金みえる化 3 NFTで回るほど価値UP 4 学校での教育(学校給食等での食育、小さいうちから地産地消について触れる) 5 大型店の流入をそろそろ市が体を張ってとめる…アクアコインの利用 6 ストアの近くに住んでもらう

移動の便利さ

課題	④交通渋滞
必要な取組	1 全自動化 2 アクアライン 時間帯 値の設定 3 バスをもう少し増やせば車の利用が減るのでは… 4 金田地域にホテル 宿泊でコストコ アウトレット割引 5 プレートのナンバーによる交通規制（中国の参考例） 6 渋滞情報の取得方法・見える化 7 情報を流す 渋滞予測も含めて全ての車に 8 混み合う時間帯の事前周知 9 交通手段の分散(車やバスだけでなく船も！！陸だけでなく海も！！)

課題	⑤アクアラインへの依存
必要な取組	1 新交通ネットワーク(北へ) リニア 2 海を使う交通(羽田⇄芝のフェリー) 3 上り電車の終電の延長 4 アクアライン運賃上がりそうになったらデモ行進

課題	⑥移動手段の充実
必要な取組	1 コミュニティバス(誰でも気軽に使用できる)の整備・無料化 2 MaaSの開始 3 コンパクトCity(地区)のネットをつくる 4 日陰を多くつくり、涼しくすることで歩きやすくする 5 電動のキックボード・自転車の普及に向けた取り組み 例 アクアコイン(IC)で利用できるキックボード 例 時間貸し自転車の整備(車が運転できなくても使える) 例 無料自転車 例 乗り捨てられる自転車 例 自転車専用道路の整備